

第78回

世界展

洋画
日本画
書
写真
工芸
彫塑
華道

2024

和歌山県美術展覧会

地方展

上富田展

令和6年11月13日(水)~11月17日(日) 9:00~17:00
上富田文化会館(西牟婁郡上富田町朝来758-1)

新宮展

令和6年11月22日(金)~11月27日(水) 10:00~17:00
※11月25日(月)は休館日
丹鶴ホール(新宮市下本町2-2-1)

橋本展

令和6年11月30日(土)~12月4日(水) 10:00~17:00
和歌山県立橋本体育館(橋本市北馬場455)

本展

洋画・日本画・書・写真・工芸・彫塑

令和6年12月11日(水)~12月15日(日) 9:30~17:00
和歌山県立近代美術館(和歌山市吹上1-4-14)

華道・招待作家部門

令和6年12月11日(水)~12月15日(日) 9:30~17:00
和歌山県民文化会館(和歌山市小松原通1-1)

※12月15日(日)は華道のみ15:00まで(招待作家部門の華道を含む)

入賞・入選者一覧

洋画部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
blossom	綿野 淳子	海南市
【優 秀 賞】		
赤いトルソーと・・・	朝日 卓志	和歌山市
初秋	岩田 邦男	和歌山市
弔い	山下 真央	和歌山市
Epiphany	米田 貫雅	和歌山市
【佳 作】		
あーした天気になーれ	井上 育子	岩出市
こちらです、中へどうぞ	井上 真輝	和歌山市
賭ける髑髏 (日光月光菩薩)	木村 尚子	橋本市
音を紡ぐ	小林 洋子	和歌山市
DORO BLUE	下向 栄一	新宮市
Strangler Fig	西浦 元康	新宮市
星明かりの森	野上久美代	橋本市
買い物	BURGER	新宮市
夏休み	堀田いつ子	和歌山市
カントリーロード	湯川千珂子	和歌山市
【入 選】		
cosmos	岩本 直子	海南市
隠国 (熊野)	梅本真佐子	上富田町
七変化	江戸 美鈴	和歌山市
睡蓮	大倉 郁子	有田川町
祈りII	大野ちづる	新宮市
鳩	大山江美子	和歌山市
お祭りで水浴びI	岡本 英嗣	和歌山市
日置の思い出	岡本喜美子	有田川町
ドリーム	尾田久美子	広川町
Birth	温水起美好	新宮市
生石高原 (II)	小西 善子	有田川町
阿修羅が輝やいて	齋藤 健二	大阪府阪南市
きいーん!!	佐々木俊行	和歌山市
utopia	篠本 涉	和歌山市
パリの屋根	佐藤 孝雄	和歌山市
ジンジャダイショウガール	鈴木 宏文	和歌山市
synapse	竹原 愛	那智勝浦町
藤棚	多田 秀廣	紀の川市
アトリエの片隅	田中 掬代	那智勝浦町
渡せない絵 敬具	田中 梨乃	和歌山市
雪どけのころ	辻本 渡	和歌山市
Spiritual	土山 明美	太地町
luminescence	津本 千絵	御坊市
対話	土井 康雄	紀の川市
君に降る光II	中尾 吏加	海南市
wish for peace	中川 妙子	岩出市

作品名	作者名	住所
火祭り	中西 信行	御坊市
What a fun cycling tripl	新納菜々子	和歌山市
lonely	馬上万由子	和歌山市
祈り	檜 ふじゑ	和歌山市
舞扇	平内 嘉子	那智勝浦町
思い出	福原 正敬	紀の川市
ピエロと紙風船	古谷 登	みなべ町
執着心	前坂 良子	かつらぎ町
CLEAR	前田 華凜	紀の川市
シンフォニー・スーパーノヴァ	前田 量子	海南市
ファンタジー I	正木多美代	白浜町
まなざしの彼方	丸山 理恵	和歌山市
ストーン・ヘンジ	YASUO	御坊市
夏の終わり	山門 佳子	那智勝浦町
晴れ着の虫くい	山口 正巳	広川町
9:41	山崎りえ子	海南市
景観変貌	山田 康廣	和歌山市
海	山本喜代美	那智勝浦町
call	塚本 稔子	和歌山市
水族館の橋の下	横田 真吾	橋本市
混元	米澤 克典	田辺市

日本画部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
山あいの発電所	小野千寿子	日高川町
【優 秀 賞】		
御伽噺	清水 薫	和歌山市
【佳 作】		
一時	宮田 有子	和歌山市
【入 選】		
気嵐	加藤 叔子	和歌山市
火祭り	栗本 啓子	海南市
那智ノ滝登り	坂本 寿志	新宮市
WBC2023	田中 佳代	有田市
ショーウィンドウ	中島 宣子	和歌山市
pointe shoes	西端 諭利	御坊市
愁映	宮本 國義	串本町

書部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
いにしへの	百溪 陽舟	和歌山市
【優秀賞】		
隠沼の	大西 眞葉	有田市
朱国祚の詩	下村 真歌	海南市
王漁洋詩	吉澤 義則	和歌山市
【佳作】		
ふじなみの	井本 舟香	和歌山市
うつろふは	大久保 静	和歌山市
曇りなき	久堀美香代	和歌山市
崔顥詩	西濱 希苑	田辺市
徳富蘆花の詩	山本 二蓬	田辺市
【入選】		
劉長卿詩	朝川 龍雲	岩出市
遙見	阿瀬 美香	海南市
天のした	石垣 智子	和歌山市
無盡蔵	井畑貴美子	和歌山市
はつしぐれ	榎 丹風	かつらぎ町
遇長安使寄裴尚書	奥村 香麗	和歌山市
うちしめり	奥山 愛子	和歌山市
登山の曲	角谷 彩紅	和歌山市
東寺竹	鬼頭 紅節	新宮市
いかにして	佐藤 和子	和歌山市
宿詠公房曉起偶成	白石 翠心	和歌山市
陸放翁詩	杉下 聖巖	海南市
感春雜詠	高橋 清川	田辺市
姚鼐詩	高橋巨佐子	田辺市
このまもる	中地 陸華	和歌山市
良寛の詩二首	長原 葵香	和歌山市
杜審言詩	中村 学行	那智勝浦町
咲くかざり	濱本 芳洋	田辺市
あふみのや	星野 聖沙	和歌山市
旅寝する	松井 淳子	紀の川市
王昌齡の詩	道尻 美嶂	那智勝浦町
朱右詩	和田 玖泉	上富田町

写真部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
港暮らし	田中美百合	和歌山市
【優秀賞】		
ブルーモーメント	坂口 享	和歌山市
おでかけ	谷所 清成	海南市
星に想いを	鶴田 圭吾	和歌山市
【佳作】		
夏	岡本あゆみ	和歌山市
秋宴のテーブル	酒井 雅治	橋本市
ドリーム	笹本 教導	有田川町
雪	島田 健司	和歌山市
ワーゲン屋	新家 益代	有田川町
貌	谷口 幸永	かつらぎ町
警戒	中 泰一郎	海南市
花あそび	山本 千里	橋本市
【入選】		
独りぼっちのバカンス	朝井 郁子	海南市
都会の片隅	池田 修平	和歌山市
帰省	池田 義成	和歌山市
赤と青と利那と永遠	井澤 里映	紀美野町
ドリーム	石橋 洋一	和歌山市
過去か現か	井関 心望	和歌山市
ゴリラの午睡	上ノ山陽子	海南市
田舎の夕暮れ	梅田こころ	和歌山市
お父さんの休日	大谷穂乃実	海南市
躍る	大橋 寛治	湯浅町
かか	岡本 未希	和歌山市
撮る	面家 陸博	和歌山市
桜エビのじゅうたん	柏田 清文	有田川町
楽しい時間	上須崎友真	大阪府泉佐野市
壁画	川幡 敏次	海南市
構造の美	小池 秀和	和歌山市
宿坊から出る行者達	児玉 正雄	岩出市
護摩供養	小畑 光弘	和歌山市
花の協奏曲	権出 毅一	紀美野町
ひと休み	山東 義明	海南市
峠を登る汽車	瀬戸 秀夫	和歌山市
Eye	高居 大晟	有田川町
ヤングケアラー	高山 勇	田辺市
氷のオブジェ	武面 邦夫	和歌山市
道の記憶	田中 公康	和歌山市
着水	田邊 勉弘	和歌山市
蟹気楼（海の向こうの街）	辻 雅司	和歌山市
静寂	辻本 ゆう	和歌山市
稲光	出合 善昭	和歌山市

作品名	作者名	住所
渓谷	寺脇 寛治	海南市
ゆき場所	富永 敬子	和歌山市
挑戦	中家 英夫	田辺市
ロコとモコ	永濱 雅幸	和歌山市
豆たち	橋本 由介	海南市
紙漉き士	日高 明宏	湯浅町
老舗	前馬 定男	有田市
メルヘンチックな夏	松尾 昌夫	和歌山市
渚	宮崎美智子	和歌山市
故郷の夕焼け	森田 敏明	紀美野町
悠久の朱	森面 淳起	海南市
Conversation of …	山内 華	和歌山市
荒涼	山口 敏幸	有田市
忘れ得ぬ人	山本 心結	紀美野町
龍炎	山本 佳範	和歌山市

■ 工芸部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
あの日	高井 良子	橋本市
【優 秀 賞】		
木彫平文加飾八角箱	信川かづえ	大阪府阪南市
【佳 作】		
太極の力	後藤佳世子	和歌山市
ガウディに憧れて	山田富美子	橋本市
【入 選】		
夜明かり	磯田 好子	古座川町
群峰	梅野 京子	湯浅町
生生流転	黒岩 扶実	和歌山市
またあした	河野ゆみ子	和歌山市
野性的	兎玉 麻由	沖縄県宜野湾市
風樹	阪口 敏子	御坊市
秋をくぐれば	佐々木知子	和歌山市
幼い日「好奇心」	佐竹 澄	和歌山市
花紋加飾乾漆盤	嶋本 弘子	和歌山市
海の散歩	高橋 恵子	橋本市
未草	瀧本 志保	古座川町
パプリーフラワー	谷本美保子	大阪府大阪市
マット釉大鉢	面岡伊津子	大阪府阪南市
暁	日裏 幸代	印南町
黒泥白流し花器	牧野 敦子	和歌山市
出逢う	丸畑 裕子	広川町

■ 彫塑部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】	該当者なし	
【優 秀 賞】		
BUFFALO	木下 誉国	和歌山市
【佳 作】		
耳をすませば	大面美和子	和歌山市
【入 選】		
歯君7年間あがたう歯槽膿漏は怖い!歯肉炎痛い!!古稀	千田 浩司	和歌山市
崩壊	濱野 彩寧	田辺市

■ 華道部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
	西 厚美	美浜町
【優 秀 賞】		
	梶本 幸樹	和歌山市
【佳 作】		
	中屋知佐子	有田川町
【入 選】		
	山田かるみ	新宮市

洋画

前回同様、全体のレベルが高く、入選作を決める段階で審査員は苦しい選択を迫られた。冒険心や若さが感じられる新鮮な作品もできるだけ多く入選としたが、入選と選外を分ける最終的な局面では表現力の巧みさや完成度の高さがやはり重視された。しかし、紙一重の部分もあるので、惜しくも選外になった作者も、今後も新鮮な作品を積極的に応募してほしい。投票を重ねて決したので意図したわけではないが、最優秀および優秀賞の5点がそれぞれ異なるスタイルを追求しており、多様性が示されたことも結果的によかったと思う。
(速水豊／三重県立美術館館長)

最優秀賞



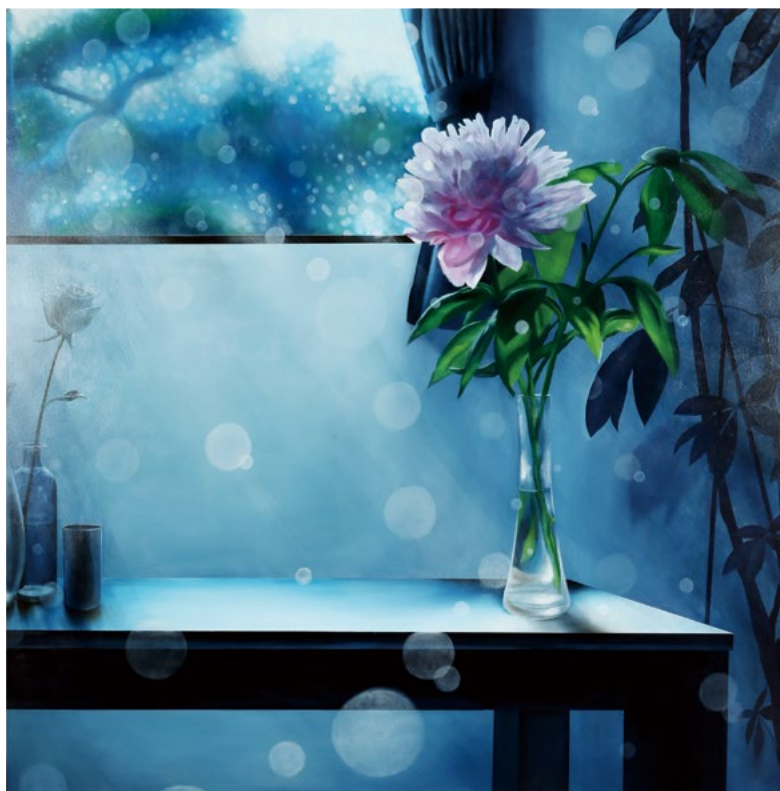
blossom

綿野 淳子（海南市）

本作はモチーフである白い花の階調表現の豊かさと、花を真正面からとらえる視点の新鮮さが、平面的でありながらも微妙な奥行きを感じさせ、観る者を作者の世界観へと惹き込む。さらにモチーフの写実的な描写に対して背景の抽象的なドットが作品に幅を与えている。これらが相まって本作品を力強く、気品を感じさせるものになっている。最優秀賞にふさわしい堂々たる作品である。
(湯川雅紀／洋画家、関西福祉科学大学教授)



赤いトルソーと・・・
朝日 卓志 (和歌山市)



Epiphany
米田 貫雅 (和歌山市)



初秋

岩田 邦男 (和歌山市)



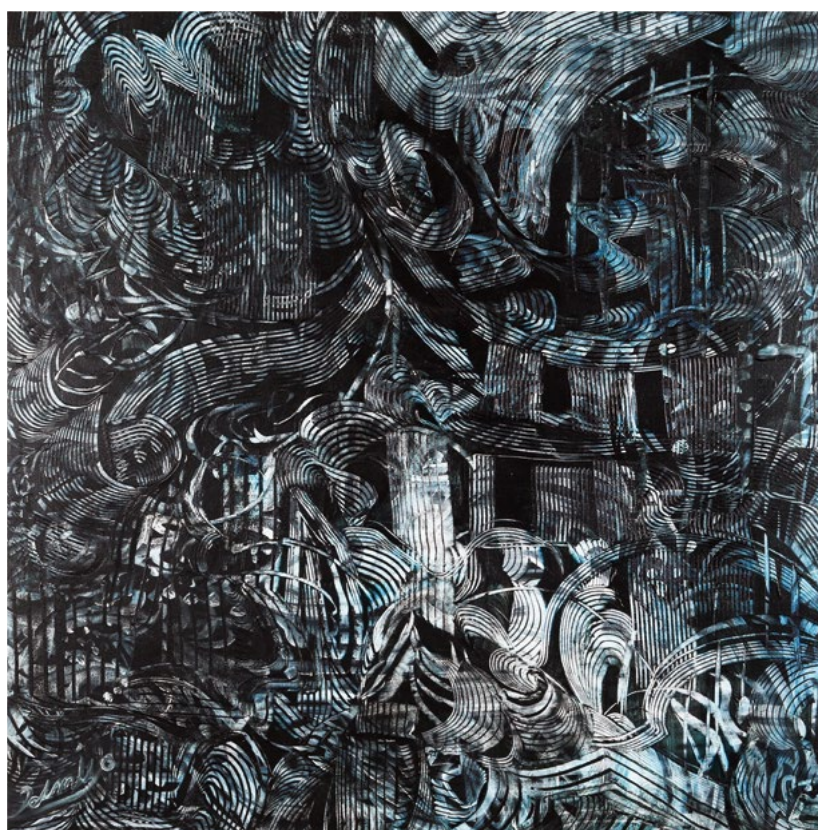
吊い

山下 真央 (和歌山市)



DORO BLUE

下向 栄一（新宮市）



星明かりの森

野上 久美代（橋本市）



賭ける髑髏 (日光月光菩薩)

木村 尚子 (橋本市)



あーした天気になーれ

井上 育子 (岩出市)



こちらです、中へどうぞ

井上 真輝 (和歌山市)



カントリーロード
湯川 千珂子 (和歌山市)



音を紡ぐ
小林 洋子 (和歌山市)



strangler Fig
西浦 元康 (新宮市)



買い物
BURGER (新宮市)



夏休み
堀田 いつ子 (和歌山市)

昨年より数を減らし、13点からの選出となったことで非常に悩ましい選考となった。いずれも対象と真摯に向き合い、作者の意図も明確で、入選と選外の差はわずかであったことをまず伝えたい。内容としては熟考した上で綿密に構成した作品が多く、何を描きたいのか、描くべきかを吟味して取り組む姿勢が審査員の共感と呼んだ。また、写実性を重視したものから創造性に富んだ表現まで様々あり、画題においても幅広いアプローチがあったことは高く評価したい。その反面、型を破る勇気をもって臨んで欲しいという思いも強く抱いた。一つの画風を突き詰めていくことも大切だが、新たな表現を試みることでいっそう世界が広がるのではないかと。ぜひ勇気をもって挑戦して欲しい。人間は失敗に臆病である。最初から上手くいくことは少なく、苦勞して独自の画境に到達すると自ずとそこに安住してしまう。しかし、結果だけでなく制作の過程に作画の意義があるとするならば、新境地へ踏み出すことはさらなる飛躍につながるのではないかと。全体的に安定した作品が多かった今回、期待するゆえにその先が見たいという正直な気持ちである。

(鬼頭美奈子/名都美術館学芸課長)

最優秀賞



山あいの発電所

小野 千寿子 (日高川町)

日高川町の山あいに百年を越えて佇む旧高津尾発電所である。作品はその長い時の重みを感じさせ、見る者の心にじんわりと沁み入る。赤煉瓦の建物を長い歴史を辿るように時間をかけて丁寧に描き込み、背景の山とともに光や空気も調和していて、濃密に表現されている。高い技術力もさることながら、作者がこの風景に感動し絵にしたいと思った、その制作の原点を大切に描かれたのだろう。訴えかけてくる強さが滲み出た秀作である。

(角野千佳子/日本画家)

優 秀 賞



御伽噺

清水 薫 (和歌山市)

佳 作



一時

宮田 有子 (和歌山市)

第78回県展の審査を終えて、応募点数は51点。内訳は漢字31点、仮名16点、その他(調和体・篆刻)4点。昨年に比べ出品点数が大幅に減少したのが残念だった。

まず入選31点を決定し、その中から入賞9点の選考を行った。審査は審査員6名により厳正に行われ、全員一致で問題なく決定した。最優秀賞の仮名作品は流暢な筆法で穏やかな美しい作、優秀賞の漢字作品は緩急があり一貫して纏め上げた安定した作。今後益々の発展を期待する。

(中尾琴麗/毎日書道展審査会員)

最優秀賞



いにしへの

百溪 陽舟 (和歌山市)

上下二段組の構成。大局的な観点から上段は脇役、下段は主役と言えましょう。それぞれの相乗効果により、絶妙なハーモニーを奏でています。切れ味のある線と心地よいリズム感が漂い魅力あふれる秀作です。

後半の山場で加墨し過ぎ、その結果、墨が散ってしまったことが惜しまれます。

(舟尾圭碩/書家)

中官兩舍即花宮
 松柏林前樓勢
 風試上精
 廣廈之宮
 望樓臺
 金坊
 切中東
 雜村邊
 西海橋下
 流澤
 海
 不至
 處
 浩
 州
 臨
 真歌

朱国祚の詩

下村 真歌 (海南省)

舟入紅梅
 故垂
 物面
 空銷
 意
 一
 西
 終
 古
 傍
 晴
 金
 盤
 玉
 翠
 流
 丹
 香
 露
 白
 秋
 清
 雪
 浪
 急
 潺
 湲
 布
 帆
 十
 尺
 如
 飛
 鳥
 卧
 石
 金
 陵
 西
 岸
 山
 義則

王漁洋詩

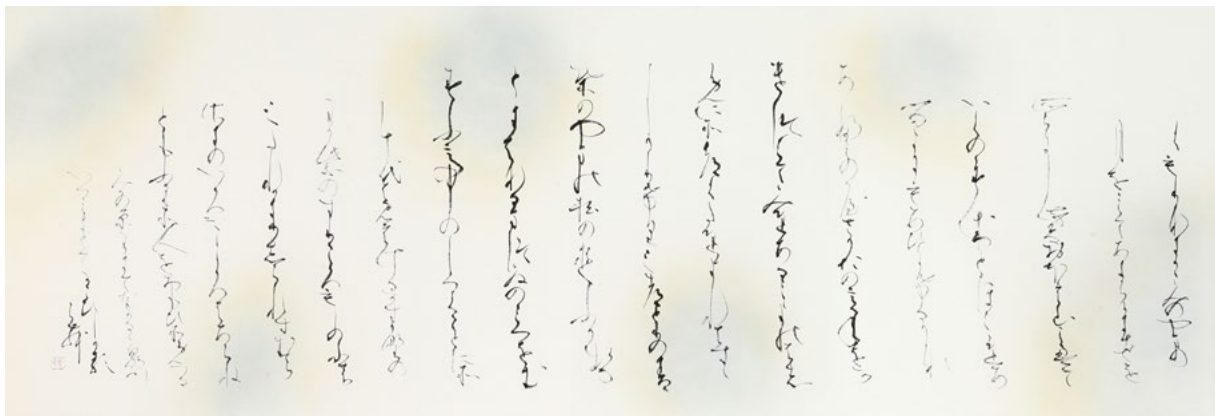
吉澤 義則 (和歌山市)



隠沼の

大西 眞葉 (有田市)

佳 作



曇りなき

久堀 美香代 (和歌山市)

昔人已乘青舂去此地空餘舊石樓黃鶴一去不復
 還白雲千載空悠悠晴川歷歷漢陽樹芳草萋萋
 綠水濱遙望鄉國煙波江上使人愁

崔顥詩

西濱 希苑 (田辺市)

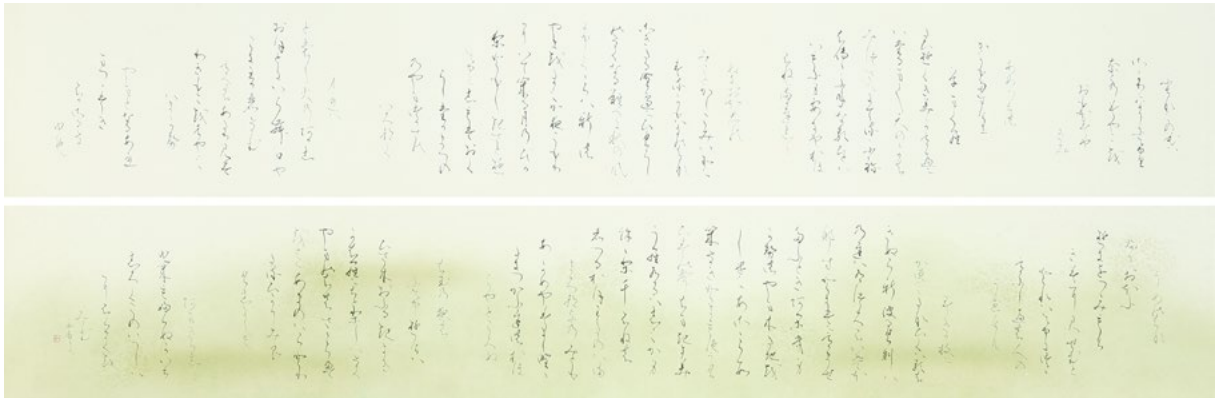
心あはれ人の見せたまは此頃の富士の野千前六時頃試た
 返り道に舟に留り眺むるに水蒸氣霧消す相模灘を見
 人難の果には半線に浴うては圖々藍色を思ふ

徳富蘆花の詩

山本 二蓬 (田辺市)



うつろふは
大久保 静 (和歌山市)



ふじなみの
井本 舟香 (和歌山市)

写真

本年は、103点の応募があり、昨年と比べて少しだけ減った。風景、スナップ、草花、幾何学模様の美など、多種多様に富んでいて、なかなかの力作ぞろいであった。個人的な感想で恐縮だが、昨年の優秀作品の傾向を見て応募している方もいるように見受けられた。技巧的な事も大事だが、まず被写体から受ける感動を、いかに伝えるか。プリントワークにキャプション、そのこだわりを見たい、とそんな欲がでた写真群であった。

(説田晃大／入江泰吉記念奈良市写真美術館主任学芸員)

最優秀賞



港暮らし

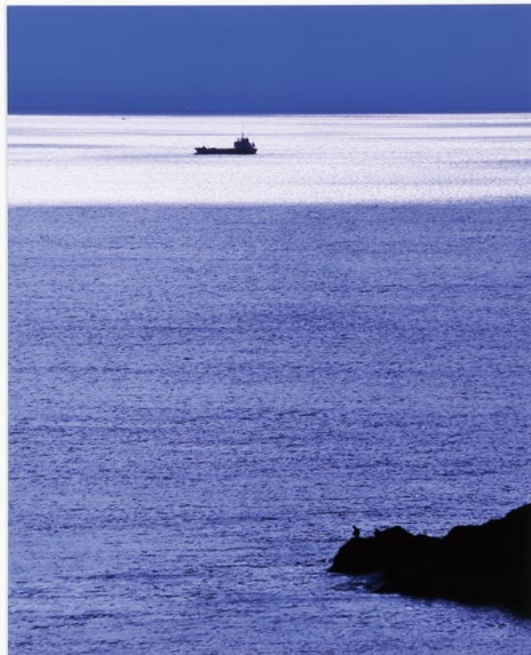
田中 美百合 (和歌山市)

三枚組写真です。真ん中に撮っている猫の目が、この作品を素晴らしい物に仕上がっています。猫を通して後の二枚が生活感が出ていて作者のシャッターチャンスに感銘しました。素晴らしい作品です。

(神田真奈美／写真家)



おでかけ
谷所 清成 (海南市)



ブルーモーメント
坂口 享 (和歌山市)

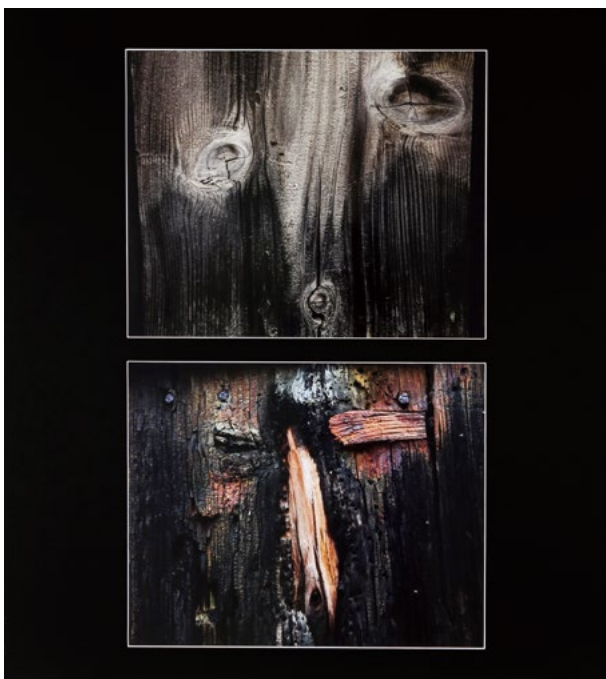
優 秀 賞



星に想いを

鶴田 圭吾 (和歌山市)

佳 作



貌

谷口 幸永 (かつらぎ町)



ドリーム

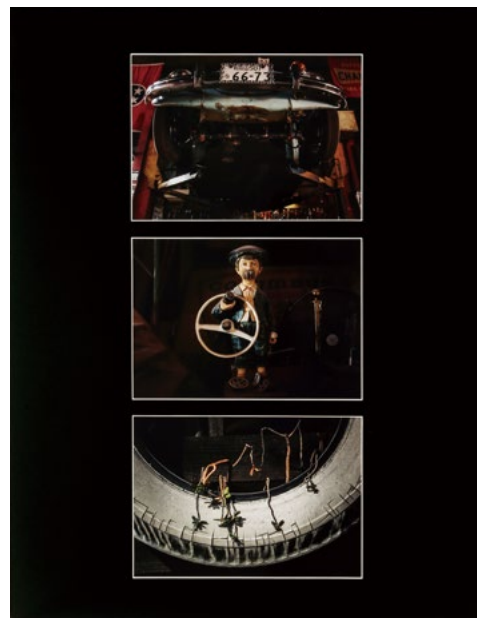
笹本 教導 (有田川町)



秋宴のテーブル
酒井 雅治 (橋本市)



雪
島田 健司 (和歌山市)



ワーゲン屋
新家 益代 (有田川町)



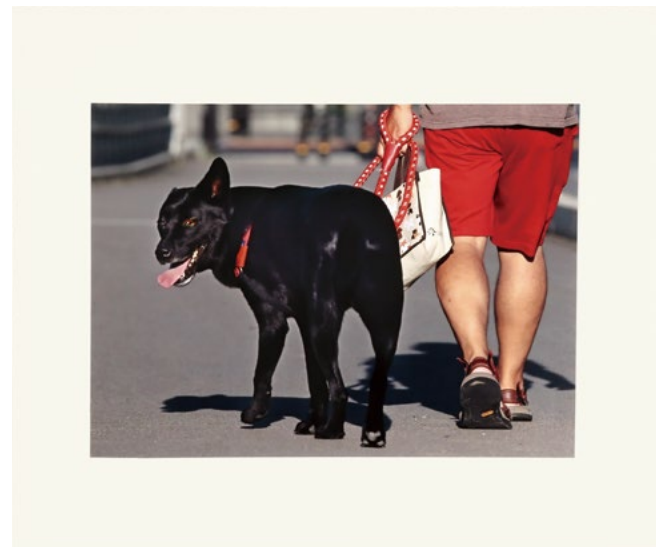
夏

岡本 あゆみ (和歌山市)



花あそび

山本 千里 (橋本市)



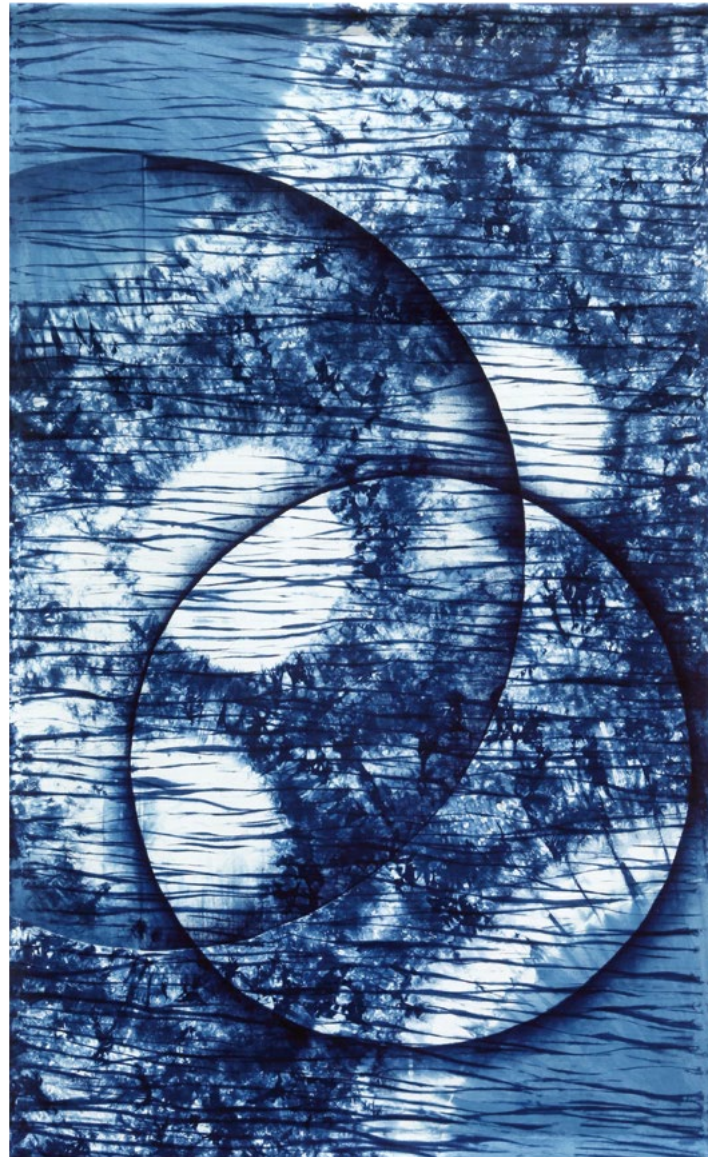
警戒

中 泰一郎 (海南市)

去年に引き続き、歴史ある和歌山県展の工芸部門の審査を担当させていただきました。他の部門の出品点数が減少傾向の中、工芸部門は前年度よりわずかながらも出品点数が増加していたのは喜ばしいことです。今年は30人が32点を出品し、20点が入選となりました。分野としては陶芸と染織が多くみられましたが、漆芸、木工芸、諸工芸もあり、県民の皆さんの興味の幅の広さを感じることができました。受賞した4点は、いずれも作者の作りたいという意欲に満ちたもので、その意欲が丁寧かつ丹念に作品化されています。工芸は自身の生活感情を素材と手わざを通じて表していくものです。そのために日常の様々なものごとに敏感になり豊かなイメージを紡ぎだすこと、そして日々の技術的積み重ねを通じてイメージを適切に表現していく力をつけることが大切になってきます。皆さまには和歌山県展を牽引するのは工芸部門だという気概で制作を続けて（あるいは始めて）いただき、来年以降もよい作品に出会えることを楽しみにしています。

(大長智広／京都国立近代美術館主任研究員)

最優秀賞



あの日

高井 良子（橋本市）

過去・現在・未来を想像させるような藍染めの叢雲絞り板締め絞りが高度な技術で染められた大作品です。「あの日」と題し白い円の思い出、それらをズームアップするかなのような藍の円模様。いろいろな事を連想させる図柄です。

明るい未来を感じて生きていくという力強い思いで染められた秀作です。

(田中利恵子／染織家)

優 秀 賞



木彫平文加飾八角箱
信川 かずえ（大阪府阪南市）

佳 作



ガウディに憧れて
山田 富美子（橋本市）



太極の力
後藤 佳世子（和歌山市）

昨年に続き今年も最優秀賞は該当者なしに終わった。入賞入選作品は、いずれも小ぶりな作品で、応募作品の中には工芸部門の方がふさわしいものもあった。この機会に、今一度、彫塑とは何かということを根本的に問い直してみてもいいかであろうか。彫塑というジャンルが本来持っている可能性と魅力について考えれば、おのずとそこから新しい表現の道が拓かれていくはずである。来年以降のチャレンジに期待したい。
(安來正博／国立国際美術館研究員)

最優秀賞 該当者なし

優 秀 賞



BUFFALO

木下 誉国 (和歌山市)

佳 作



耳をすませば

大面 美和子 (和歌山市)

華道

とても素晴らしい力作ばかりが華やかに並ぶ中、それぞれに作者の皆さんが作品に込めた想いを感じられました。今を生きるその時々に出会った花と向き合い、その瞬間を大切にする、終わりのない華道。私達の心を豊かに、成長させてくれる華道。皆さんの華道を愛する熱い想いが、これからの華道を力強く支えてくれることと願います。

(山中樹／洛陽未生流家元)

最優秀賞



西 厚美 (美浜町)

黒竹を細かく裂き、さらに丸く膨らませることにより、より竹の美しさを引き出している。白い玉をアクセントに散らし竹を現代的なセンスでとらえ、丁寧に仕上げた所は見事です。

(池永喜世／華道家)

優 秀 賞



梶本 幸樹 (和歌山市)

佳 作



中屋 知佐子 (有田川町)

“招待作家部門” 出品リスト

● 洋画部門

作品名	作者名	住所
かぶく者	【審査員】 池田 章子	和歌山市
朝露	【審査員】 古曾 成樹	由良町
華の夢	【審査員】 辻 勝己	和歌山市
蜜色の森	【審査員】 出口 十糸	海南市
夢II	【審査員】 中野 和夫	和歌山市
テトラポットのある風景	【審査員】 中森 順一	和歌山市
Löwe 6 のためのエチュード	【審査員】 保富 仁之	田辺市
室内	【審査員】 松谷 弘子	紀の川市
無題	【審査員】 湯川 雅紀	海南市
海の音	明渡 和子	和歌山市
それぞれに	有本ふみ子	和歌山市
FUJI	井澤佳代子	紀美野町
蘇鉄のある風景	板原 敏子	広川町
朋 2024 - C	稲垣 紀子	和歌山市
空とこいのぼりの精と	岩本 芳	和歌山市
しらさき彩岩	上ノ山博也	海南市
朽ちてゆくもの	浦木 優	橋本市
春の日	榎本 敬子	和歌山市
'24GURU・GURU-green	岡崎ゆみこ	和歌山市
光路	小川 泰弘	海南市
霧中	奥川 祐子	新宮市
古代の詩	尾崎 功	和歌山市
飛龍	小原千冬子	和歌山市
夏	面矢 元子	橋本市
ひまわりの詩（叫び）	北澤 恭子	橋本市
FANTASY	きわたすみこ	和歌山市
熊野曼荼羅（玉置山）	楠瀬 伸和	海南市
貝の詩	坂口 卓平	海南市
WORK '24-4	阪本 聡	御坊市
樫野埼灯台	阪本 由捷	御坊市
バラ	佐藤 円	和歌山市
始原の生命の樹	島田 博雄	和歌山市
遠い記憶	清水 雅昭	太地町
爛漫	鈴木 源二	橋本市
池畔倒影	橘 謙一	有田川町
回想	立本みさほ	和歌山市
惑惑	田中 淳子	和歌山市
遊	谷澤佐規子	和歌山市
尾道へ帰還	出口久仁子	御坊市
尾道	出口 由孝	御坊市
漁具	土井 敏弘	和歌山市
木漏れ日の広場	土井 久幸	和歌山市
朝に咲く	中尾 久代	海南市
憶う鋼	中西 周代	紀の川市
共生	中前 光雄	かつらぎ町
あかり	中村 恵伍	和歌山市
オーロラの想い	棗 多江子	有田市
深雪	野崎 廣	和歌山市
石仏	平田 勝男	新宮市
わたしの Venezia	藤谷万里子	和歌山市
浮遊 - 2024 -	堀 憲子	和歌山市
花かげII	前地 洋美	三重県紀宝町
想花	前田 充代	かつらぎ町
溪流	増田 清子	和歌山市
秋の長野	増田 綱紀	太地町
明日へ…	益山 恵	田辺市
Time Sense	松尾摩利子	大阪府岬町
encounter	松岡 里美	紀の川市

作品名	作者名	住所
立夏の頃	松山 敏彦	かつらぎ町
黒いドレスの女	三阪 篤子	和歌山市
Waltz of the Flowers	三隅 俊昭	那智勝浦町
冬の信濃路	宮本 偉敏	日高町
my master space	無井由希子	和歌山市
想いでソナタ	村下 良子	和歌山市
青いドライブフラワー	森岡やす子	和歌山市
深海	安田 澄栄	橋本市
春の女神 ベルセポネ	山崎都基子	和歌山市
tasty	吉田美紀子	和歌山市

● 日本画部門

作品名	作者名	住所
爽風	【審査員】 角野千佳子	和歌山市
時（生かされて）	【審査員】 田中 重造	有田市
菊薫る	【審査員】 増田 淑子	和歌山市
花菖蒲	【審査員】 吉田晃一郎	和歌山市
唐代美人	浦野 ちみ	和歌山市
紀淡海峡	近江友紀子	橋本市
新春の桜	坂梨とき子	和歌山市
白鳳	崎山 誓子	和歌山市
紫式部	高橋 佳子	橋本市
ばら	高幣 佳代	北海道札幌市
南紀	中井 悠紀	和歌山市
ここに咲く	藤井 秀子	大阪府熊取町
一隅の華	南口みどり	橋本市
舞う	宮崎 朋子	和歌山市

● 書部門

作品名	作者名	住所
国木田獨歩語	【審査員】 池永 碧濤	兵庫県西宮市
春夏秋冬	【審査員】 小澤 清湖	和歌山市
七言対句	【審査員】 小島 健堂	和歌山市
春霞	【審査員】 小林 明香	和歌山市
菅子詩	【審査員】 谷口 和光	紀の川市
秋	【審査員】 舟尾 圭碩	海南市
樓船一挙風波静	赤坂 松琴	和歌山市
三日月	浅井 香園	和歌山市
よこべば	池田 一華	和歌山市
汪珍の詩	石井 里梅	有田市
和歌一首	岩橋 瑞花	和歌山市
白楽天詩	岩本 栄光	紀の川市
花よりほかに	上田 大愚	和歌山市
韋應物詩	上野 花園	和歌山市
つきかげの	上野 朱煌	和歌山市
過去を自慢するのは進歩の止まった証拠	江川 真洲	岩出市
王表・成徳樂	遠藤 美園	和歌山市
九日	岡端 紀苑	紀の川市
花さそふ	岡本 朱鴻	和歌山市
寂靜	笠松 康華	岩出市
恋夢	加納 敬舟	和歌山市
敬天愛人	川崎 大幹	岩出市
梅芳	川瀬 玲舟	和歌山市
三十六歌仙	岸畑由喜子	和歌山市
唐詩	小谷 冬華	紀の川市
飛翔	小西 翔紅	和歌山市
桃花千歳春	小西 泰鳳	海南市
ひむかしの	佐藤 祥琴	和歌山市
五言句（明月照積雪）	佐原 草苑	和歌山市

作品名	作者名	住所
萬壑風聲草木寒	靜 一華	和歌山市
賀扇動清風	志茂 珠香	和歌山市
濁れる水の	須佐 翠山	和歌山市
あはじしま	角谷 真寿	和歌山市
我舞影零乱	瀬藤 翠琴	岩出市
曹源一滴水	高木 久琴	和歌山市
李夢陽詩	高田 佳鳳	和歌山市
高談娛心	田村 剛	和歌山市
月読の	辻 昂鳳	橋本市
秋風引	出口 抱琴	和歌山市
禪語	堂本 雅人	橋本市
大空に	土肥 歌舟	和歌山市
勸酒	中村 東光	和歌山市
万葉集	中家 光苑	和歌山市
周弘詩	面 紅邑	和歌山市
花見宴	西村 霖風	和歌山市
難波渦	西本 紫舟	和歌山市
いく山河	抜井 恵舟	紀の川市
七転八起	福田 順香	新宮市
こよひ来む	松倉 映舟	和歌山市
圖書華月聯句	松村 博峰	大阪府枚方市
パリ五輪	三嶋 昭苑	紀の川市
この道を	南 雅仙	紀の川市
嘉遯	南坂 東英	紀の川市
朝日今	柳川 朱萌	海南市
張謂詩	山本 清雲	和歌山市
井谷まさみち短歌	吉村 祥雲	和歌山市
真砂なす	吉本 蒼琴	和歌山市
李益詩	渡辺 李光	和歌山市

● 写真部門

作品名	作者名	住所
歩む	【審査員】 青木 義雄	有田川町
たそがれ時	【審査員】 神田真奈美	海南市
記憶(軍艦島・1992・11・19)	【審査員】 照井 四郎	有田市
くらげ	【審査員】 花畑 重靖	海南市
お城	川口 享子	和歌山市
雲、舞う	田中 和巳	海南市
少女(カンボジア)	常田 茂	紀美野町
蛸ダンス	中道 望	海南市
明石海峡大橋	武津 孝雄	和歌山市
彩舞	宮下健太郎	海南市
Jet stream	柳岡 正澄	御坊市
嵐の子兆	山中 健次	かつらぎ町

● 工芸部門

作品名	作者名	住所
王国への旅-その旅の途中-	【審査員】 井澤 正憲	紀美野町
習作Ⅲ	【審査員】 田中 紀子	大阪府茨木市
煌	【審査員】 田中利恵子	有田市
籠目	【審査員】 西村 修次	みなべ町
今を叱る	【審査員】 山田 健二	海南市
青交趾金筋菓子鉢	寒川 栖豊	白浜町
焼締花入	嶋本 博文	和歌山市
Birth	澤 幸	紀美野町
未来に向かって!!	蓮尾 幸子	橋本市
孤高泰然	古谷 正義	白浜町
麒麟(創作刺繍)	光成トミ子	岩出市
流滴带状文壺	宮内 昇	大阪府貝塚市
マキガイノユメ	吉田 絵美	和歌山市

● 彫塑部門

作品名	作者名	住所
静寂	【審査員】 岡本 勝利	広川町
港街散歩2	【審査員】 松谷 靖夫	紀の川市
Wasser	大木 讓司	みなべ町
期待-2024-	鍵野 憲雄	和歌山市
望	西村(山本)美智子	和歌山市
立ちあがる雲	橋本 和明	湯浅町
Invaders(侵略者)	日根 宏幸	和歌山市
動かない場所	山根 淳史	上富田町

● 華道部門

作品名	作者名	住所
【審査員】 池永 喜世		広川町
【審査員】 平田 喜甫		和歌山市
楠石 佳代		和歌山市
橋本 順雲		御坊市
福永八千代		和歌山市
藤井 豊節		岩出市
宮脇 尚子		和歌山市
湯川 豊章		和歌山市

第 78 回和歌山県美術展覧会 応募・入賞・入選状況

	入賞・入選点数	入賞・入選状況				出品点数	応募者数
		最優秀賞	優秀賞	佳作	入選		
洋画	62	1	4	10	47	117	93
日本画	10	1	1	1	7	13	13
書	31	1	3	5	22	51	51
写真	56	1	3	8	44	103	85
工芸	20	1	1	2	16	32	30
彫塑	4	0	1	1	2	7	6
華道	4	1	1	1	1	9	9
合計	187	6	14	28	139	332	287

審査員

洋画

池田 章子 (洋画家)	古曾 成樹 (洋画家)	辻 勝己 (洋画家)
出口 十糸 (洋画家)	中野 和夫 (洋画家)	中森 順一 (洋画家)
速水 豊 (三重県立美術館長)	保富 仁之 (洋画家)	松谷 弘子 (洋画家)
湯川 雅紀 (洋画家)		

日本画

角野千佳子 (日本画家)	鬼頭美奈子 (名都美術館学芸課長)	田中 重造 (日本画家)
増田 淑子 (日本画家)	吉田晃一郎 (日本画家)	

書

池永 碧濤 (書家)	小澤 清湖 (書家)	小島 健堂 (書家)
小林 明香 (書家)	谷口 和光 (書家)	中尾 琴麗 (毎日書道展審査会員)
舟尾 圭碩 (書家)		

写真

青木 義雄 (写真家)	神田真奈美 (写真家)	照井 四郎 (写真家)
説田 晃大 (入江泰吉記念奈良市写真美術館主任学芸員)	花畑 重靖 (写真家)	

工芸

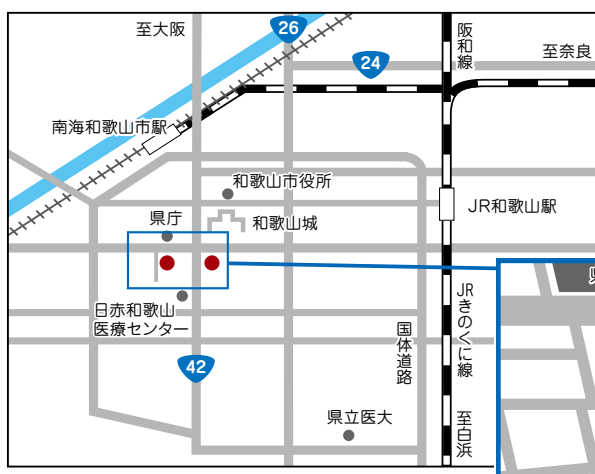
井澤 正憲 (陶芸家)	田中 紀子 (染織家)	田中利恵子 (染織家)
西村 修次 (陶芸家)	山田 健二 (漆芸家)	大長 智広 (京都国立近代美術館主任研究員)

彫塑

岡本 勝利 (彫刻家)	松谷 靖夫 (彫刻家)	安來 正博 (国立国際美術館研究員)
-------------	-------------	--------------------

華道

池永 喜世 (華道家)	平田 喜甫 (華道家)	山中 樹 (洛陽末生流家元)
-------------	-------------	----------------



主催：和歌山県
 共催：和歌山県教育委員会・和歌山県立近代美術館
 和歌山県美術家協会・毎日新聞社和歌山支局
 一般財団法人 和歌山県文化振興財団
 橋本市・新宮市・上富田町
 協賛：公益財団法人 大桑教育文化振興財団
 (順不同)

